

## 新市立病院のあり方について

**問** 新市立病院が地方行政独立法人へ移行すると、業務の効率化に重点が置かれ、自治体病院の課題である不採算医療や政策的・行政的医療を推進していくことができるのか。公営のまま運営すべきと思うがどうか。

**答** 本市は公営企業型の地方独立行政法人への移行を検討しており、市長が議会の同意を得て作成する中期目標により公立病院の機能を発揮することが求められる。効率化だけが優先されるべきものでないと認識している。

## 長崎市民会議

### 重粒子線治療施設の誘致について

**問** 最先端の放射線医学として注目を浴びている重粒子線治療施設をぜひ被爆地であり西洋医学発祥の地である長崎に誘致してもらいたい。市長の積極的な姿勢をお伺いしたい。

**答** 重粒子線治療は、がんにも効果的に作用し、患者の身体的負担が軽減される治療として期待されている。施設誘致に際し、広大な敷地が必要となる等

課題は多いが、高齢化した被爆者にとって最適な治療法とも考えられ、国に対して施設設置を要望していきたい。

### 米国大統領に対する本市招請の趣旨について

**問** オバマ米国大統領の本市招請を強く考えているようだが、被爆市民の代表として、核兵器廃絶を世界へ発信しなければならぬ使命を負った市長として、大統領に対して何を訴え、何を期待しているのかお伺いしたい。

**答** 大統領に被爆地から世界に向けて、被爆者の願いを酌み取り、長崎アピールを発信してほしい。大統領の訪問は、核兵器のない世界に向かう次の一歩として歴史的意義があることから、実現に向けて力を尽くしていきたい。

## 気 走 会

### 長崎衛生公社の経営改革の進捗状況について

**問** 長崎衛生公社の経営改革については、庁内プロジェクトチームを立ち上げ健全経営に向けて努力してきたようだが、これまでにどのような改革の成果を上げたのか。

**答** 業務の縮小に伴う人員体制や給与等の見直し等を実施し、その結果、平成20年度決算で単年度黒字となった。今後は、平成24年度を目標に、し尿収集業務の完全委託化や財団法人化に向けてスケジュールの策定を行っている。

### 委員会審査の主な内容

各常任委員会における主な議案の審査状況は、次のとおりです。

## 総務委員会

### 一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例を可決

今回の改正は、本市の職員の特殊勤務手当について、国家公務員への支給状況、社会情勢の変化等を勘案し、その適正化を図ろうとするものです。

委員会では、改正内容についての職員への周知方法や同じような作業を行う民間事業者との比較、救急出動手当の廃止に関連し、救急業務を行う消防職員の給与上の措置状況などについて慎重に審査しました。

その結果、今回の特殊勤務手当の改正は、職員の労働環境を後退させるものであり賛成できないとの反対意見が出されましたが、採決の結果、原案のとおり可決しました。

## 厚生委員会

### 長崎市老人デイサービスセンター条例を廃止する条例及び長崎市伊王島生活支援ハウス条例を廃止する条例を可決

本件は、本市における民間の老人デイサービスセンター及び生活支援ハウスの整備状況等を総合的に勘案し、香焼、伊王島、高島、外海及び三和地区老人デイサービスセンター並びに伊王島生活支援ハウスを廃止し、民間事業者に貸し付けようとするものです。

委員会では、施設の貸し付けに係る庁内における意思決定の経緯などについて慎重に審査しました。

その結果、今回廃止する施設を、各地区における歴史的経過や同施設の運営実績を踏まえ、現在、同施設を運営している長崎市社会福祉協議会に貸し付けることとしているが、今後も同協議会による運営にあたっては、その成果が各地区の福祉のために生かされるよう、十分考慮してほしいとの要望を付した賛成意見が出され、異議なく原案を可決しました。